

地方会議（茨城県水戸市）

1. 日時、場所

平成24年4月15日（日） 13時30分～15時30分
茨城県水戸合同庁舎 2階大会議室

2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 100名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	34
資金調達	2
経営指導・経営支援	4
技術力・人材（技能承継等）	1
取引関係（下請取引・流通構造等）	1
販路開拓（海外展開等）	5
若手・青年層の活力発揮	1
女性層の活力発揮	5
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	5
その他	10

（2）主な意見

【資金調達】

- ・ サポイン事業の委託費の支払いが精算払いとなっており、ベンチャー企業等も苦慮している。概算払いやつなぎ融資があるとありがたい。
- ・ 東日本大震災で水戸の商店街は大きな被害を受けた。銀行に追加融資や返済期限の延長の相談をしようにも、震災前から既に厳しい状況にあり、金融機関や信用保証協力では協力いただけないというのが現実。

【経営指導・経営支援】

- ・ 中小企業施策は、事業者の末端まで情報が行き届いていない。農商工連携の認定を受けてから各種の支援、低利融資等の情報をもらえるようになったが、認定を受けないと情報が入ってこない。
- ・ 国の支援策を活用する際に、支援を受ける経営者側がしっかり理念やビジョンを持っていることが必要。方向性をはっきりさせると、人材育成や海外展

開を行うときに、明確にもの言えるようになる。

【技術力・人材(技能承継等)】

- ・リーマンショック以降、売上が大幅に減少しており、新しい人材を雇えず、数年後にその歪みが出てきてしまうのではないかと危惧している。

【取引関係(下請取引・流通構造等)】

- ・親会社から「コストが合わなければ、海外に移す。」とよく言われることもあり、ここにきて、海外進出の検討を開始している。

【販路開拓(海外展開等)】

- ・新商品を開発すると、展示会に出展し、新商品のPRを行うが、1回当たり150万円~200万円の費用がかかり資金面で非常にきつい。最近では、欧米の展示会への出展も考えており、より一層きつくなってきている。
- ・海外展示会等で知り合った現地企業との関係を継続させるためにも現地で支援を行ってくれるJETROのような機関をもっと強化、充実していくべき。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・建設業界では復旧・復興の仕事が増えているが、建設機械、資材、人が不足しており、女性層、青年層には新たな活躍を期待している。

【女性層の活力発揮】

- ・旅館のサービスは女性が主体となる職業であるが、出産、育児等で結婚後の約5年から10年でほとんどが離職する。保育園にも入れず、また入れても6時以降は預かってくれない。女性が働き続ける社会環境が整っていない。
- ・女性の社会進出への課題としては、子供を預ける保育所問題のほかに、夫の扶養の範囲内で働きたいという制度な制約の問題もある。

【「地域」の中の中小・小規模企業(商店街等)】

- ・水戸市の商店街も、全国と同様に郊外型のモールの影響、高齢化、後継者不足といった問題により空洞化している状況。
- ・深刻なのは風評被害。水戸市の飲食店の売上は例年の3割しかない。

【その他】

- ・震災の影響で人材不足が続いており、ハローワークで求人募集をしているが、失業保険を逆手に取って給付のための面接をする人が多い。